

～ 誰もが 生きていてよかった といえる街をつくりたい ～



2022 年 夏号
No. 228



地域の方々に支えられて ～ぽぽの輝く仲間たち～

ぽぽハウスでは、地域の方々から日々、様々な形でご協力をいただいています。皆様の温かいご支援は、ぽぽハウスの活動が地域につながる機会になっています。その中でも昨年度、活動を支えて下さったお二人に、感謝状をお贈りさせていただきました。

“もったいないの精神”で ペットボトルキャップを集めて

私はぽぽハウスのうたごえサロンで、キャップの回収のことを知ったことがこの活動を始めたきっかけです。自宅や職場で積極的に集め、ぽぽハウスに提供してきました。

キャップを持っていくと、職員の皆様がいつも出迎えて下さり、丁寧なお言葉をいただき、ぽぽハウスのハートを感じて2年余り続けてきました。職員向けのSDGsの学習会も開催されているとのこと。私もSDGsの17項目を覚えて実践に結びつけたいと思います。



山口 隆司さん

“子ども達と楽しむ”をモットーに

毎週水曜日に、放課後等デイサービスに通う子ども達と一緒に畑でじゃがいも、さつまいも、枝豆などを育てています。

主には私が下準備をして、子ども達は畝づくり、植え付け、除草、たい肥作りをしています。子ども達とは小学生からの付き合いで、気楽に話しながら一緒に作業していて楽しいです。子どもたちと農作業ができることがボランティアとして一番の喜びです。



久木 春次さん

第22回特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス総会報告

5月22日(日)、彦根市障害者福祉センターにて、第22回通常総会を行いました。前年度活動報告、収支報告、今年度活動計画、活動予算書、役員の改選について、全議案賛成多数で可決され、新たな年度のスタートとなりました。

～地域で共生社会を実現するには～

ぽぽハウス職員を対象に、“共生社会とはどのような社会か”を改めて考える機会とするため、「彦根市地域福祉計画・ひこね障害者まちづくりプラン」の内容を中心に、彦根市障害福祉課長の西倉邦浩氏にお話をいただきました。

今、彦根市も少子高齢化がすすんでいます。地域の中でふれあい、支えあい気持ちをもち、誰もがお互いを認め合い『ともに生きる』ことをめざし職員個人としても事業者としてもすすめていきます。

ぽぽハウスでは、行政や諸団体とニーズの共有や連携をしながら、地域の方々の「暮らしや人のありのままを知る」という視点を持つということが、今後大変重要になってくることを改めて確認できた機会となりました。(地域協働室 尾本)



通常総会



研修会

掲載内容

- ・2面：もっともっと子育てにやさしい彦根にするために！ / まちなかシアターのご案内
- ・3面：ペットボトルキャップ引き渡し / 「NPO スペシャルオリンピックス日本」の滋賀地区大会
- ・4面：街かど掲示板 / 求人案内 / 寄付のお願い / 寄付のお礼

街かど掲示板



リトルベビーサークル
滋賀の COAYU
代表 小島 かわり
(写真後方)



SHIGA_NO_COAYU

早く小さく生まれた赤ちゃん、その家族のためにできること

リトルベビーサークル『滋賀の COAYU』は2021年の夏にできたばかりの低出生体重児の家族会です。

私は、2019年に32週で約1,400gの娘を出産しました。周りにこんなに小さく産んだ知り合いもおらず、夢に描いていた出産や育児とはかけ離れたスタートでした。

似た境遇の方と繋がりたいという私の思いからサークルを立ちあげましたが、すぐに滋賀県内のたくさんの方から、生まれた時にこんなサークル、繋がりが欲しかったと言ってもらい、1人じゃなかったという思いです。

この春には滋賀県内4ヶ所で「お花見交流会」を開催し、28組のリトルベビーファミリーとボランティアさん、合計100人以上の方にご参加いただきました。「似た境遇だからこそ話せることがたくさんありました。」「自分の子より少し大きなお友達を見て勇気をもらいました。」と感想をいただきました。

これからも滋賀県内で不定期に交流会を企画していきます。普段はInstagramで情報発信しています。活動を応援していただける方からのフォローもお待ちしています！

求人案内

【パート】シフト制

- ◎児童指導員
- ◎介護職員
- ◎ドライバー(利用者の送迎)
高齢者や障害のある児童等の
普通車による送迎
勤務地：平田・大藪・芹川

※ 詳しくはハローワークの求人票をご覧ください。

寄付のお願い

“ぽぽハウス”は、認定NPO法人のため寄付金に対する税制上の優遇措置が受けられる団体となっております。ぜひ、私たちの活動にご協力ください。

- ◎ 振込先 ゆうちょ銀行
- ◎ 口座名義 特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス
- ◎ 口座記号 00980-4
- ◎ 口座番号 130131

寄付を頂きました。心より感謝申し上げます (敬称略)

三上 智慧美、山脇 玲子、平田 久美子、有限会社 平和産業

認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス

発行責任者：若林 重一

住所：〒522-0041 彦根市平田町 107-11 (法人事務局)

TEL:(0749)27-9777 mail:popohouse@nifty.com

FAX:(0749)27-9888 HP: http://www.popo-house.jp

芹川町	ぽぽ相談室 ・特定相談支援・委託相談 ・障害児相談支援 きらめき(障害児通所施設) ・児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援	(要医療児者支援体制配置) (行動障害支援体制配置) (精神障害者支援体制配置)
	ぽぽハウス(障害児通所施設) ・児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援 個別支援室 ・同行援護・行動援護・移動支援	
大藪町		

平田町	居宅介護支援室 ・ケアマネジメント ぽぽハウス(高齢者通所施設) ・地域密着型通所介護・介護予防通所介護 ・ほのぼの(通所型サービスA) はばたき(障害児通所施設) ・児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援 子ども子育て支援室 ・すくすく教室(彦根市受託事業) 地域協働室 ・市民共生活動・子育てアドバイス相談コーディネート ・あったかルーム(宅老)	しが介護職員定着等推進事業者 しが介護職員定着等推進事業者 ～ 財産である職員を大切にしています ～
	車両室 彦根市地域子育て支援センター「まんまるひろば」 (ビバシティ彦根2階)	

※認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウスは、「認定NPO法人 しがNPOセンター」・「NPO法人 街かどケアしがネット」の会員です。



座談会「もっともっと子育てにやさしい彦根にするために！～地域共創の中でつくり上げる子育て支援～」では、地域・行政・企業を代表して、子育て支援グループ Hikone MAMA Power 代表で子育て真っ最中の原田絢子さん、和田彦根市長、平松平和堂社長が、彦根市シティプロモーション戦略推進委員会 会長北川雄士さんの進行のもと、それぞれの取組の現状やこれからの子育て支援、共創について話されました。



座談会の中では、今までこのような場がなかったことから「コミュニケーションをとれる場をもっともっと」、子育て支援について「できないじゃなく、どうしたらできるかをみんなと考えたい」「一緒に考えるといっぱいできるのでは?!」など前向きな言葉がポンポンと出、『今まさに対話の最中！次は協業!!』、共創イベントの中から次の共創の芽が出たようで、高揚感を感じずにはいられませんでした。ぜひまた、みんなといっしょに次の共創へ！



(子ども子育て支援室 鈴木祥)

まちなかシアターのご案内

❖ 上映作品 「梅切らぬバカ」

- ・開催日：8月12日(金) 13:00～
- ・場所：NPO ぽぽハウス はばたき 2階
- ・上映時間：約 70 分 (参加無料)



ぜひお越し下さい！

あらすじ
地域社会から孤立し、
自閉症の息子と二人きりで
生きてきた母親が、息子の
自立を模索する作品です。

地域共創の子育て

ひこにゃん・ビバッチェくん・はとっぴーの登場に、子どもも大人も大歓声。5月8日、ビバシティ彦根 1 階ステージで「いっしょに子育て！」の開始だ。

このイベントは、子育てはママ・パパだけでなく、地域・行政・企業も含めたみんなでいっしょに！との思いを込め、彦根・多賀を拠点に子育てを支援しているグループ、平和堂さん、まんまるひろばがそれぞれのアイデアと力を出し合い、座談会やパフォーマンス、体験、子育て情報提供の場となりました。



座談会 登壇者

左から北川さん、和田市長、原田さん、平松社長

さて、「共創」とは？

地域・行政・企業、同じ「子育て支援」でも、視点も違えば手段も違います。直接的なお手伝いをしたい、制度をかえる、いろんな商品を届けたい…立場が違えば視点が変わり、アプローチの仕方も情報の伝え方もかわります。どうしても、一団体・一部署では乗り越えられないことも出てきます。

そこで、他の相手と対話・協業しながら、既存のサービスのブラッシュアップや新しいことを生み出していくことが共創です。



「ペットボトルキャップ引き渡し」を通して環境問題を考える

約 **15,600** 個！これは今回、当法人で集まったペットボトルキャップの数です。 ※廃棄物バスターズさん調べ

ぽぽハウスでは、職員、利用者さんとそのご家族、今回一面でご紹介させて頂きました山口様をはじめとする地域の方々のご協力により、ペットボトルキャップの回収に取り組んでいます。

集まったキャップは年に数回、利用者さんとの交流の場として、滋賀県立大学「廃棄物バスターズ」さんへお渡ししています。その後、プランター、雨水タンクにリサイクルされます。

ぽぽハウスでは、昨年 SDGs についての学習をしました。普段何気なく捨ててしまうキャップですが、**貴重な資源**として環境問題をより身近に感じて頂くきっかけになればと思っています。

これからも「廃棄物バスターズ」さんの活動に継続して携わっていきます。 (地域協働室 上田)



「NPO スペシャルオリンピックス日本」の滋賀地区大会に参加しました

春号でご紹介した「NPO スペシャルオリンピックス日本」の滋賀地区大会が6月26日(日)愛荘町スポーツセンターで開催され、当法人の障害児通所施設「はばたき」から、アスリートとして林さん岡本さん、コーチとして石澤と小林が参加しました。

多くの方が見守る中、開会式での林さんの力強い選手宣誓の後、2人はバスケットボールの「個人競技」に初出場し大健闘しました。

林さんは、連続シュートや高速ドリブルが決まり、ディビジョニング2※で**金メダル**。岡本さんも、ミラクルシュートを決め、ディビジョニング3※で**金メダル**を獲得し大喜びでした。

競技が終了し、2人のご家族からご本人に「今日は、よく頑張ったね！すごいね！」「感動したよ！」と声をかけている姿に親子が認め合う新たな1ページを見ることができました。

※ ディビジョニング：バスケットボールの技術到達度毎にグループを分ける事です。グループ数は、参加者人数等で決定します。



選手宣誓：林さん



競技後の2人



10mドリブル：林さん



10mドリブル：岡本さん

又、大会翌日には、別のご家族からこのようなご感想をいただきました。

「大会に初めて参加し、もう感動しかありません。パラリンピックもオリンピックも感動しますが、知的に障害のある人は、圧倒的に少数な気がしていました。それなのにこんな身近でこんなにも楽しんで真剣にバスケットをプレイしているアスリートの姿は奇跡の様に感じました。普段の生活の中で『あれも無理、これも無理』とか『出来ない』とか諦める事ばかりでしたが、個人競技での子どもの姿から『可能性を信じていく』という勇気をもらいました。そのようなきっかけをいただいたスペシャルオリンピックス日本滋賀に感謝です。」アスリート、ファミリーが『生きる力と勇気をください』と掲げる“スペシャルオリンピックス日本の理念”をもとにこれからも成長するアスリートやファミリーに寄り添いながら活動していきます。 (地域協働室 石澤)